

ドローンによる災害箇所空撮、3D 図化、構造物調査

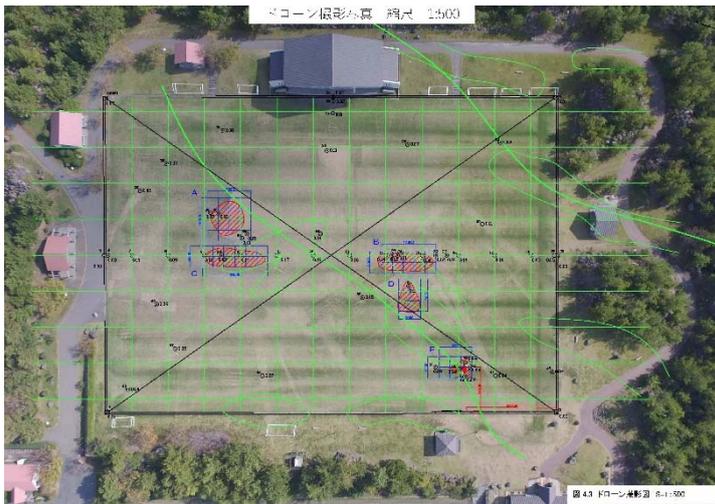
ドローン技術は、搭載測定装置のコンパクト化・解析技術向上等により、調査技術に革命をもたらしています。最新型ドローによる3D 図化、構造物診断、災害調査事例を紹介します。



ドローンとコントローラ



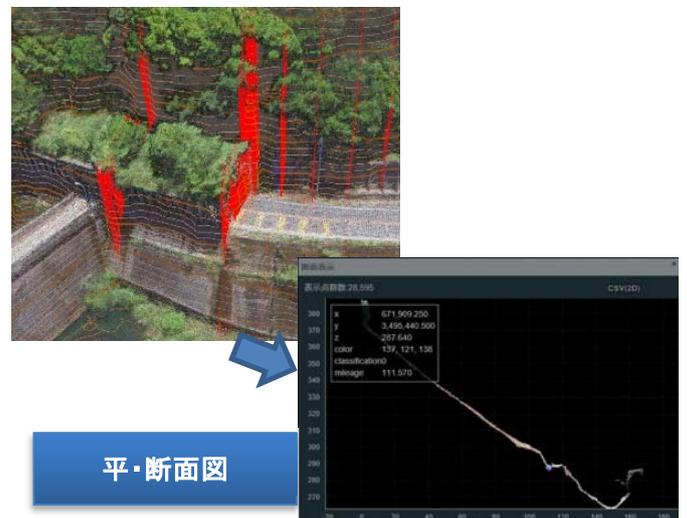
赤外線カメラによる構造物診断



広域変状調査例



3D 解析図



平・断面図

緊急災害調査におけるドローンの使用例

1 被災直後にドローンで撮影（斜め、直上）

2 3D解析後平面・断面図作成
被災規模の把握

3 現地立入り調査
微地形の詳細把握

4 地質図(平面・断面図)作成
地すべり解析

5 対策工法の比較検討・選定
安定解析、概算工事費

工法	第一工法: 擁壁+土留め+冠工+土留め+冠工+土留め+冠工	第二工法: 擁壁+土留め+冠工+土留め+冠工+土留め+冠工	第三工法: 擁壁+土留め+冠工+土留め+冠工+土留め+冠工
安定解析	安定安全率: 1.25	安定安全率: 1.35	安定安全率: 1.45
概算工事費	約 1000万円	約 800万円	約 600万円
選定理由	安定安全率が高い	安定安全率が高い	安定安全率が高い

6 対策工図面作成
平面・断面・構造図、数量計算書

南九地質株式会社 鹿児島市永吉1丁目2番22号 担当:松元 ☎099-837-3330

※ホームページ(//www.nan9.co.jp)にも技術資料を添付していますのでご覧下さい。